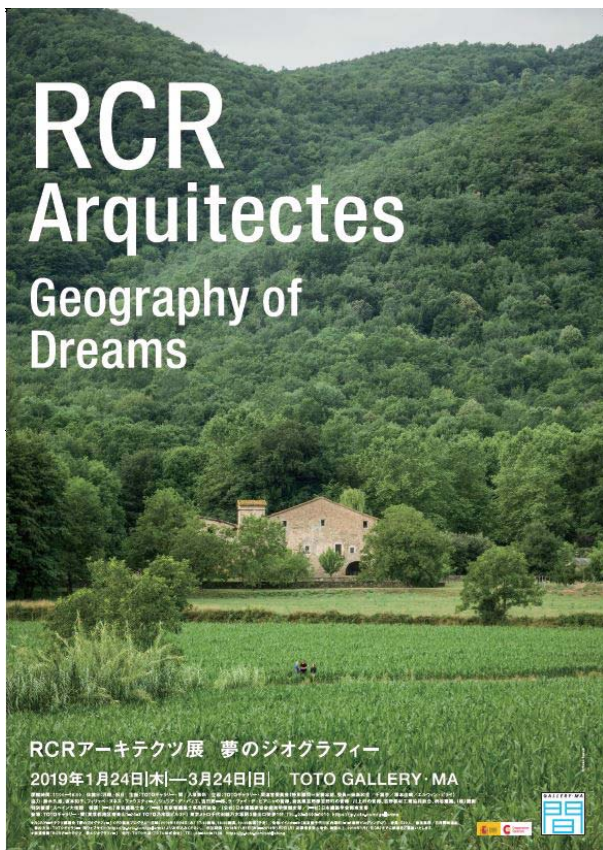




「RCR アーキテクト展 夢のジオグラフィー」

TOTOギャラリー・間(東京都港区)は、2017年プリツカー建築賞を受賞したスペインの建築家、ラファエル・アラング、カルマ・ピジェム、ラモン・ヴィラルタが共同主宰する建築設計事務所、RCR アーキテクトの展覧会「RCR アーキテクト展 夢のジオグラフィー」を2019年1月24日(木)～3月24日(日)の会期で開催します。また、関連イベントとしてRCR アーキテクト講演会を1月24日(木)に開催します。



展覧会

会期＝2019年1月24日(木)～3月24日(日)

会場＝TOTOギャラリー・間

(東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F)

休館日＝月曜・祝日

開館時間＝11:00～18:00 入場無料

講演会

日時＝2019年1月24日(木)

17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演(予定)

会場＝イイノホール

(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F)

定員＝500人／参加無料 **CPD 認定プログラム**

言語＝日本語、スペイン語同時通訳

参加方法＝事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト(<https://jp.toto.com/gallerma>)

よりお申込みください

申込期間＝2018年11月1日(木)～2019年1月7日(月)

応募者多数の場合、抽選の上、2019年1月17日(木)までに結果をご連絡いたします。

展覧会概要

TOTO ギャラリー・間では、スペイン・カタルーニャ地方のオロットを拠点に、歴史や文化、自然に寄りそった活動を続ける RCR アーキテクトの展覧会「RCR アーキテクト展 夢のジオグラフィー」を開催いたします。

ラファエル・アランダ、カルマ・ピジェム、ラモン・ヴィラルタによって 1988 年に設立された RCR アーキテクト(以下、RCR)は、常に 3 人で対話を重ね、カタルーニャの土地に根差しながら詩情豊かな建築を生み出してきました。こうした彼らの活動が評価され、2017 年にはプリツカー建築賞初の 3 人による同時受賞という快挙を成し遂げました。

本展では RCR のこれまでの歩みに加え、「夢」をテーマに彼ら自身がカタルーニャ地方ガロッチャで進めている「ラ・ヴィラ」プロジェクトを紹介します。RCR は、広大な敷地に研究施設や工房、宿泊施設、パビリオンなどを配した「ラ・ヴィラ」において、人びとが集い、ともに学び、自然を空間として体感してもらうことで、知覚することそのものを学ぶ研究の場を実現しようとしています。

そのなかのひとつである「紙のパビリオン」は、RCR が長年にわたり影響を受けてきた日本文化との架け橋となるプロジェクトで、奈良県吉野町の人びとと協力し、吉野の木材を用いながら、RCR 独自の世界観を表現しています。

「紙のパビリオン」の構造体の一部分や、吉野をめぐる旅を追ったドキュメンタリー映像、RCR の手によるドローイングなど多彩な展示を通じ、RCR アーキテクトが長い時間をかけて実現しようとしている「夢のジオグラフィー」の一端をぜひ体感してください。

TOTO ギャラリー・間

展覧会詳細

展覧会名(日) RCR アーキテクト展 夢のジオグラフィー

展覧会名(欧) RCR Arquitectes: Geography of Dreams

会期: 2019 年 1 月 24 日(木)～3 月 24 日(日)

開館時間: 11:00～18:00

休館日: 月曜・祝日

入場料: 無料

会場: TOTO ギャラリー・間(〒107-0062 東京都港区南青山 1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F)

東京メトロ千代田線乃木坂駅 3 番出口徒歩 1 分

TEL: 03-3402-1010 <https://jp.toto.com/gallerma>

主催: TOTO ギャラリー・間

企画: TOTO ギャラリー・間運営委員会

(特別顧問=安藤忠雄、委員=妹島和世/千葉 学/塚本由晴/エルウィン・ビライ)

特別後援: スペイン大使館

後援: (一社)東京建築士会 / (一社)東京都建築士事務所協会 / (公社)日本建築家協会関東甲信越支部 / (一社)日本建築学会関東支部

協力: 鈴木久雄、坂本知子、フィリップ・ヌネス・ファウステイーノ、ジュリア・デ・バイエ、吉田周一郎、ラ・ヴァイ・デ・ビアニャの皆様、奈良県吉野郡吉野町の皆様、川上村の皆様、吉野製材工業協同組合、榎谷建築、(株)鯨組

展覧会コンセプト

夢のジオグラフィー

「私たちにとって人生とは夢であり、建築とは夢を見るための道具である。私たちは夢と建築を通して、真に重要な現実を創造することができる。そのような夢を通して、私たちは人生をたどっていくのだ。」

この展覧会は「夢のジオグラフィー」というタイトルのもと、私たち RCR アーキテクトの歩みと「夢」というコンセプトを示すものである。データや図面、コンセプト・スキームなど基本的な説明に始まり、旧友で写真家の鈴木久雄氏の視点を通じて制作された代表作品の映像へと続き、RCR が建築をどのように理解しているのかを紹介する。その後、「夢のジオグラフィー」として今後何年もかけてたどり着こうとしている私たちの夢、宇宙観を体現したプロジェクト「ラ・ヴィラ」の中へと入っていく。

「ラ・ヴィラ」は、森林と水の流れ、そして記憶の住まう土地(ジオグラフィー)であり、その場所は私たちが、開かれた研究の場の創作とその探求へとつき動かした。それは人間の知覚に対する意識を変容させ、新しい関係性や行動を促すことのできるような、横断的で総合的、そして可能な限り最も本質的で根本的な方法でつくられた研究の場となるだろう。

さらに「ラ・ヴィラ」をともに進めている奈良県吉野町の人びとや吉野の森をはじめ、2017 年に来日した際にめぐった各地の旅の体験をまとめたドキュメンタリー映像、テキスト、そして描画^{スケッチ}を通じ、RCR と日本との長年にわたる交流を紹介したい。

RCR アーキテクト

建築家プロフィール

RCR アーキテクト/ RCR Architectes

1988 年にラファエル・アランダ(1961 年ー)、カルマ・ピジェム(1962 年ー)、ラモン・ヴィラルタ(1960 年ー)の 3 人により、スペインのカタルーニャ地方オロットに設立された建築スタジオ。プリツカー建築賞(2017 年)をはじめ、カタルーニャ州政府による建築文化賞(2005 年)、フランス芸術文化勲章オフィシエ(2014 年)など、国内外で多数の受賞歴をもつ。2008 年に旧彫刻鑄造工場であった「バルベリ・スペース」へ拠点を移し、2013 年に RCR BUNKA 財団(日本語の「文化」に由来)を設立して以来、建築とランドスケープ、アートや文化と社会との関わりの促進に寄与する活動を続けている。奈良県吉野町をはじめ多くの人びとの協力を得て、進行中のプロジェクト「ラ・ヴィラ」内に、2017 年 RCR LAB・A 建築研究所を設置。代表作に、「トゥツソル・バジル陸上競技場」(スペイン オロット、1991-2012 年)、「ラ・リラ・シアター・パブリック・スペース」(スペイン リポイ、2011 年)、「スーラージュ美術館」(フランス ロデーズ、2014 年)、「ヴァールゼ・クローク・メディアテーク」(ベルギー ゲント、2017 年)など。



©Hisao Suzuki

関連イベント

RGR アーキテクト講演会「夢のジオグラフィー」

CPD 認定プログラム

日時: 2019 年 1 月 24 日(木) 17:30 開場、18:30 開演、20:30 終演(予定)

会場: イイノホール(東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4F)

定員: 500 名/参加無料

言語: 日本語、スペイン語(同時通訳)

参加方法: 事前申込制 TOTO ギャラリー・間ウェブサイト(<https://jp.toto.com/gallerma>)より
お申込みください。

申込期間: 2018 年 11 月 1 日(木)~2019 年 1 月 7 日(月)

応募者多数の場合、抽選の上、2019 年 1 月 17 日(木)までに結果をご連絡いたします。

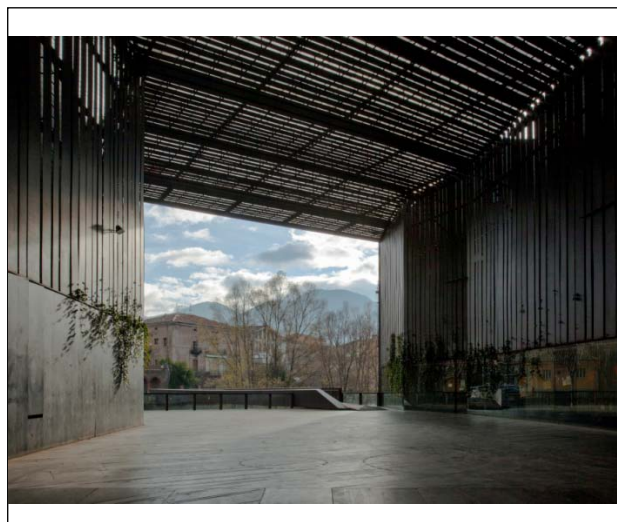
関連書籍

『RGR アーキテクト 夢のジオグラフィー』

発行: TOTO出版(TOTO株式会社) <https://jp.toto.com/publishing>



[1] トゥツソル・バジル陸上競技場（1991-2012年）
スペイン、オロット ©Hisao Suzuki



[2] ラ・リラ・シアター・パブリック・スペース（2011年）
スペイン、リポイ ©Hisao Suzuki



[3] スーラージュ美術館（2014年）
フランス、ロデーズ ©Hisao Suzuki



[4] ヴァールゼ・クローク・メディアテーク（2017年）
ベルギー、ゲント ©Hisao Suzuki

広報用図版をご入用の方は、下記までご連絡ください。

TOTO 株式会社 東京広報グループ TEL=03-6836-2025

広報担当=森川光子(mitsuko.morikawa@jp.toto.com)、阿部園子(sonoko.abe@jp.toto.com)

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。
これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、30余年にわたり活動しています。
「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」の活動目的は、建築家もつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築家のメッセージとして発信することです。



TOTO出版

TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員の力で、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

